

# 説教レジュメ ルカの福音書 2章 21節～35節「誰が救い主で、どんなお方？」

2025年12月21日 クリスマス礼拝

## 【序論】本当のヒーローを待つ私たち

- 世のヒーロー像：圧倒的な力、きらびやかな姿、悪を倒す強さ。
- 聖書の救い主：無力な「一人の赤ちゃん」として現れた。
- エルサレムの神殿で、救い主を腕に抱いた老人シメオンの告白から学ぶ。

### 1. どのような救い主か(21～24節)

- 「従う者」として来られた：

本来ルールを作るお方が、あえて律法(ルール)に従う一人の人間として歩み始められた。

- 「低きに降る」お方：

両親がさげたのは「子羊」ではなく「鳩」だった。これは貧しい家庭の証し。

- 私たちの弱さを知るお方：

高い所から指図するのではなく、私たちの生活の苦労や痛みを分かち合うために来られた。

「私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。」(ヘブル4:15)

### 2. だれが救い主なのか(25～32節)

- 400年の沈黙を破って：

預言が途絶え、暗闇の中にあった時代。シメオンは沈黙の中でも神の約束を待ち望んだ。

- 「聖霊」による導き：

この幼子が救い主だと分かったのは、知識ではなく「聖霊なる神様」の働きによる。

「天の父は、ご自分に求める者たちに、聖霊を与えてくださる」(ルカ11:13)

- すべての人を照らす光：

一部の人だけではなく、私たち日本人も含む「万民(異邦人)」を照らす共通の光。

### 3. その救い主は私たちに何をもたらすのか(33~35 節)

- **人生の分岐点:**  
このお方を受け入れるか拒絶するかによって、人が「倒れるか立ち上がるか」が決まる。
- **心を照らす光:**  
光が差し込むと、隠しておきたい罪や汚れも明らかになる。ゆえに反対を受ける。
- **十字架という「しるし」:**  
マリアの心を刺し貫いた剣(十字架の痛み)。イエス様が私たちの「反対」と「痛み」をすべて引き受けられたことで、私たちは新しく立ち上がることができる。

### 【結論】あなたへの最高のクリスマス・プレゼント

- シメオンが抱きしめたのは、人生を完結させるほど\*\*「平安」\*\*だった。
- 救い主は、あなたが罪や絶望から立ち上がるために来られた神様からの贈り物。
- 「求めなさい。そうすれば与えられます。」
- このクリスマスの光に照らされて、本当の平安とともに新しい年(2026 年)を迎えましょう。